



アプリケーションユーザの管理

- [アプリケーションユーザの概要 \(1 ページ\)](#)
- [アプリケーションユーザのタスクフロー \(2 ページ\)](#)

アプリケーションユーザの概要

Cisco Unified CM の管理の [アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウで管理者は、Cisco Unified Communications Manager アプリケーションユーザに関する情報を追加、検索、表示、および保守することができます。

Cisco Unified CM の管理には、デフォルトで以下のアプリケーションユーザが設定されています。

- CCMAAdministrator
- CCMSysUser
- CCMQRTSecureSysUser
- CCMQRTSysUser
- IPMASecureSysUser
- IPMASysUser
- WDSecureSysUser
- WDSysUser
- TabSyncSysUser
- CUCService



(注) Standard CCM Super Users グループの管理者ユーザは、Cisco Unified Communications Manager Administration、Cisco Unified Serviceability、および Cisco Unified Reporting のいずれかにシングルサインオンすることによって、このすべてのアプリケーションにアクセスできます。

アプリケーションユーザのタスクフロー

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	新規アプリケーションユーザの追加 (2 ページ)	新しいアプリケーションユーザを追加します。
ステップ 2	デバイスとアプリケーションユーザの関連付け (3 ページ)	アプリケーションユーザに関連付けるデバイスを割り当てます。
ステップ 3	Cisco Unity または Cisco Unity Connection への管理者ユーザの追加 (3 ページ)	Cisco Unity または Cisco Unity Connection に管理者ユーザとしてユーザを追加します。Cisco Unified CM の管理でアプリケーションユーザを設定します。その後、Cisco Unity または Cisco Unity Connection で、そのユーザの追加の設定を構成します。
ステップ 4	アプリケーションユーザパスワードの変更 (5 ページ)	アプリケーションユーザパスワードを変更します。
ステップ 5	アプリケーションユーザパスワードクレデンシャル情報の管理 (5 ページ)	関連する認証ルール、関連するクレデンシャルポリシー、アプリケーションユーザの直前のパスワード変更の時刻などのクレデンシャル情報を変更または表示します。

新規アプリケーションユーザの追加

手順

-
- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で **[ユーザの管理 (User Management)]** > **[アプリケーションユーザ (Application User)]** を選択します。
- ステップ 2 **[新規追加]** をクリックします。
- ステップ 3 **[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)]** ウィンドウのフィールドを設定します。フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。
- ステップ 4 **[保存 (Save)]** をクリックします。
-

次のタスク

[デバイスとアプリケーションユーザの関連付け \(3 ページ\)](#)

デバイスとアプリケーションユーザの関連付け

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[ユーザ管理 (User Management)] > [アプリケーションユーザ (Application User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 既存のユーザを選択するには、[次の条件でユーザを検索 (Find User Where)] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得し、リストからユーザを選択します。
- ステップ 3** [使用可能なデバイス (Available Devices)] リストで、アプリケーションユーザに関連付けするデバイスを選択し、リストの下にある下向き矢印をクリックします。選択したデバイスが [制御対象のデバイス (Controlled Devices)] リストに移動します。

(注) 使用可能なデバイスのリストを制限するには、[別の電話を検索 (Find more Phones)] ボタンまたは [別のルートポイントを検索 (Find more Route Points)] ボタンをクリックします。
- ステップ 4** [別の電話を検索 (Find more Phones)] ボタンをクリックすると、[電話の検索/一覧表示 (Find and List Phones)] ウィンドウが表示されます。検索を実行して、このアプリケーションユーザに関連付ける電話機を検索します。
アプリケーションユーザに割り当てるデバイスごとに、上記ステップを繰り返します。
- ステップ 5** [別のルートポイントを検索 (Find more Route Points)] ボタンをクリックすると、[CTI ルートポイントの検索/一覧表示 (Find and List CTI Route Points)] ウィンドウが表示されます。検索を実行して、このアプリケーションユーザに関連付ける CTI ルートポイントを検索します。
アプリケーションユーザに割り当てるデバイスごとに、上記ステップを繰り返します。
- ステップ 6** [保存 (Save)] をクリックします。

Cisco Unity または Cisco Unity Connection への管理者ユーザの追加

Cisco Unified Communications Manager と Cisco Unity Connection 7.x 以降を統合する場合は、このセクションで説明する手順を実行する代わりに、Cisco Unity Connection 7.x 以降で使用可能なインポート機能を使用できます。インポート機能の使用方法については、次で Cisco Unity Connection 7.x 以降の『*User Moves, Adds, and Changes Guide*』を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-maintenance-guides-list.html>。

Cisco Unity または Cisco Unity Connection ユーザが Cisco Unified CM アプリケーションユーザと統合されている場合は、フィールドを編集できません。これらのフィールドは、Cisco Unified Communications Manager Administration でしか更新できません。

Cisco Unity と Cisco Unity Connection は、Cisco Unified Communications Manager からのデータの同期をモニタします。ツールメニューの [Cisco Unity Administration] または [Cisco Unity Connection Administration] で同期時刻を設定できます。

始める前に

Cisco Unity または Cisco Unity Connection にプッシュする予定のユーザに適切なテンプレートが定義されていることを確認します

[Cisco Unity ユーザの作成 (Create Cisco Unity User)] リンクは、適切な Cisco Unity または Cisco Unity Connection ソフトウェアがインストールされ、設定されている場合のみ表示されます。Cisco Unity に関する『*Cisco Unified Communications Manager Integration Guide*』または Cisco Unity Connection に関する『*Cisco Unified Communications Manager SCCP Integration Guide*』を次で参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unity-connection/products-installation-and-configuration-guides-list.html>。

手順

- ステップ 1 Cisco Unified CM の管理から、[ユーザ管理 (User Management)] > [アプリケーションユーザ (Application User)] を選択します。
- ステップ 2 既存のユーザを選択するには、[次の条件でユーザを検索 (Find User Where)] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得し、リストからユーザを選択します。
- ステップ 3 [関連リンク (Related Links)] ドロップダウンリストで、[Cisco Unity アプリケーションユーザの作成 (Create Cisco Unity Application User)] リンクを選択し、[移動 (Go)] をクリックします。
[Cisco Unity ユーザの追加 (Add Cisco Unity User)] ダイアログが表示されます。
- ステップ 4 [アプリケーションサーバ (Application Server)] ドロップダウンリストで、Cisco Unity または Cisco Unity Connection ユーザを作成する Cisco Unity または Cisco Unity Connection サーバを選択し、[次へ (Next)] をクリックします。
- ステップ 5 [アプリケーションユーザテンプレート (Application User Template)] ドロップダウンリストで、使用するテンプレートを選択します。
- ステップ 6 [保存 (Save)] をクリックします。
Cisco Unity または Cisco Unity Connection で管理者アカウントが作成されます。[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウの [関連リンク (Related Links)] 内のリンクが [Cisco Unity ユーザの編集 (Edit Cisco Unity User)] に変化します。これで、Cisco Unity Administration または Cisco Unity Connection Administration で作成したユーザを表示できるようになります。

アプリケーションユーザパスワードの変更

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[ユーザ管理 (User Management)] > [アプリケーションユーザ (Application User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 既存のユーザを選択するには、[次の条件でユーザを検索 (Find User Where)] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得し、リストからユーザを選択します。
[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウに、選択されたアプリケーションユーザに関する情報が表示されます。
- ステップ 3** [パスワード (Password)] フィールドで、既存の暗号化されたパスワードをダブルクリックし、新しいパスワードを入力します。
- ステップ 4** [パスワードの確認 (Confirm Password)] フィールドで、既存の暗号化されたパスワードをダブルクリックし、もう一度、新しいパスワードを入力します。
- ステップ 5** [保存 (Save)] をクリックします。

アプリケーションユーザパスワードクレデンシャル情報の管理

次の手順を実行して、アプリケーションユーザパスワードに関するクレデンシャル情報を管理します。これにより、パスワードのロック、パスワードへのクレデンシャルポリシーの適用、最後に失敗したログイン試行時などの情報の表示などの管理業務を実行できます。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM Administration から、[ユーザ管理 (User Management)] > [アプリケーションユーザ (Application User)] を選択します。
[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** 既存のユーザを選択するには、[次の条件でユーザを検索 (Find User Where)] フィールドに適切なフィルタを指定し、[検索 (Find)] を選択してユーザのリストを取得し、リストからユーザを選択します。
[アプリケーションユーザの設定 (Application User Configuration)] ウィンドウに、選択されたアプリケーションユーザに関する情報が表示されます。
- ステップ 3** パスワード情報を変更または表示するには、[パスワード (Password)] フィールドの横にある [クレデンシャルの編集 (Edit Credential)] ボタンをクリックします。
ユーザの [クレデンシャル設定 (Credential Configuration)] が表示されます。
- ステップ 4** [クレデンシャル設定 (Credential Configuration)] ウィンドウで、各フィールドを設定します。
フィールドとその設定オプションの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

ステップ5 いずれかの設定を変更した場合は、[保存 (Save)]をクリックします。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。